

1. 件名：リスク情報の活用に関する東北電力株式会社との面談

2. 日時：令和5年9月8日（金） 13：30～15：00

3. 場所：原子力規制庁 16階A会議室

4. 出席者

原子力規制庁

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官、

横塚副主任技術研究調査官、上田副主任技術研究調査官、

久保副主任技術研究調査官

原子力規制部

検査監督総括課 米林上席検査監視官、沼田検査監視官

東北電力株式会社 原子力本部 副長 他2名

5. 要旨

(1) 原子力規制庁では、リスク情報を活用した原子力規制検査のために安全研究を実施しており、PRAに係る技術開発及び課題の解決に係る研究を実施している。東北電力株式会社（以下「東北電力」という。）についてもリスク情報の活用のためにPRAモデルを作成していることから、PRAモデルの整備状況及びPRAの課題について意見交換した。

(2) 東北電力からPRAモデルの整備状況について説明があり、内部事象レベル1 PRA及び内部事象レベル1.5 PRAの整備状況の紹介があった。また、東北電力から地震時レベル1 PRAモデル及び津波時レベル1 PRAモデルの整備計画、内部火災レベル1 PRAモデル及び内部溢水レベル1 PRAモデルの整備計画の検討等について説明があった。

(3) 原子力規制庁から、配布資料を用いて検査の活動の一環で実施している事業者PRAモデルの適切性確認において課題としてあげている項目の反映状況を質問したところ、東北電力より機器故障率等いくつかの項目についてはすでに反映しているとの回答があった。原子力規制庁は、詳細については検査の活動の中で確認していくこととした。

6. 配布資料

資料4 原子力規制検査で用いる事業者の確率論的リスク評価（PRA）モデルの適切性確認（第26回原子力規制委員会（令和4年7月27日）配布資料）、<https://www.nra.go.jp/data/000399213.pdf>